

三原市久井歴史民俗資料館 vol.39

モーモー通信



さいふ 財布のうつりかわり

①



巾着



火打ち袋

(火打ち金と火打ち石を入れる)

今回は資料館に収蔵している、3つのさいふを紹介するモー。どの財布も 緋（染糸で織られた布）で作られているよ。早速みてみよう！

まず①の財布は、江戸時代に使われた、ぜにを入れるための「巾着」だよ。口をひもでしばる袋で、火打ち袋（火をおこす道具を入れて携帯する袋）から変化したものなんだ。

②

モーモー館長



たきのう 多機能だモー



うし子ちゃん

②の財布は、「道中財布」というよ。江戸時代に旅人が主に使い、時代劇なんかにもよく登場するわ。布を折りたたみひもをぐるぐる巻きつけて使うよ。内側には袋が縫い付けられており、お札の他にぜにや小判も入れられるみたい。

③



③の財布は、「がま口」というんだ。今でも見かけるよね。明治時代、新しい貨幣が登場すると、海外から財布をつくるための材料が輸入されたんだ。この財布は金属製の金口を開け閉めして使うよ。名前の由来は、その口がガマガエルみたいだからなんだ。そして今、僕は財布をほとんど持たず、スマホで決済するモー！



うし丸くん

バレンタイン

ぬりえをしよう！

資料館オリジナルのぬりえシートを追加しました！ロビーに色鉛筆と一緒に置いてありますので、館内で楽しんでいただけます♪

市HPからダウンロードもできますのでおうちでモ〜♪

↓ダウンロード先

<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/site/kyouiku/120105.html>



*完成ぬりえを持ってきてくれたら、限定50名様に牛グッズ（どんぐりストラップなど）をプレゼント♪ご希望の方は、館内に掲示します！

久井八景4 古文書の和歌に登場する、久井の美しい景色を紹介！

とおみいわちょうぼう
〜遠見岩眺望〜
とおみいわ むかし
遠見岩とおき昔のながめより
いま なき
今もくすしき名に聞こえたり

*「くすしき」とは、神秘的であること。

遠見岩は、久井町の下津地区と江木地区とを西から見下ろす山の山頂にあります。天慶元（938）年、久井稻生神社が下津から江木へ移った際、この岩からみんなで神社を一望したと伝えられています。



つづきは資料館で ...

〒722-1303

三原市久井町下津 1397

三原市久井歴史民俗資料館

TEL・FAX 0847-32-7139

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合、翌日休館）、年末年始

アクセス 中国バス久井中停留所下車

いあんない図

